

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(1)-(ア) 4-(1)-(ウ)	具体的 な取組	「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用				
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道（不動院～二葉の里～矢賀一里塚。昭和58年指定）は、国宝「不動院金堂」をはじめ、重要文化財等が集積した歴史文化的価値の高い散歩道である。平成21年3月から、散歩道を活用して東区の魅力発信を図る目的で、「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協働し、「ふたばの日」（毎月28日）に定期ガイド等を実施している。				
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。				
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018年度実績が815人であったため、2020年度目標を830人とし、季節ごとに開催を予定している特別ガイド等の内容充実と、幅広い世代へ届けるための広報手段の工夫により、毎年度1%ずつ参加者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	815人 (2018)	830人	0人	0%
○2020年度取組内容等 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年2月以降、予約なしで不特定多数の方が参加する「ふたばの日」の定期ガイドは中止している。 なお、新しい生活様式に対応して10月1日から再開した「いつでもガイド」（予約制・時間短縮・1グループ5人以内など）は、32回実施し、参加者は110人であった。（12月12日～3月7日の間は中止） 事業中止期間中は、ガイドの資質向上を図るため、「ガイドの手引き」の改訂を行うとともに、老朽化した案内板の整備（8か所）を行った。 【案内板の整備8か所】				
1 聖光寺	2 尾長天満宮	3 饒津神社	4 鶴羽根神社	
5 不動院	6 國前寺	7 アストラムライン牛田駅	8 我羅我羅橋	
○2021年度目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
838人	予約なしで不特定多数の方が参加する「ふたばの日」は当面中止とするが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、再開を検討する。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、ガイドの会と「ふたばの日」の再開の時期・手順・方法を検討する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(1)-(イ) 4-(1)-(エ)	具体的 な取組	「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯籠や参道に「平和の灯」から採火した約千本のろうそくを灯し、平和の夕べを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念するとともに、エキキタをアピールするため、平成24年度から、七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、関係団体及び区役所で組織する実行委員会が中心となり、毎年8月5日に実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 イベントの来訪者数			○目標値の考え方 2019年度実績が1900人であったため、2020年度目標を2,000人とし、毎年度50人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1,900人</td> <td>2,000人</td> <td>0人</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1,900人	2,000人	0人	0%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1,900人	2,000人	0人	0%													
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、実行委員会として「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の中止を決定した。 また、2021年度以降の実施方法の検討のため、本来の趣旨にそった簡略化した事業内容（慰霊のろうそく等）に絞った検討を行った。																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,050人</td> <td>原爆によって亡くなられた人々の慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、密接・密集を避けた上で開催する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2,050人	原爆によって亡くなられた人々の慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、密接・密集を避けた上で開催する。									
目標値	取組方針等																
2,050人	原爆によって亡くなられた人々の慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、密接・密集を避けた上で開催する。																
○取組上の課題等 上記の方針を基に、実行委員会で検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響が見通せないことから、2021年度も中止を決定した。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(2)-(ア)	具体的な取組	自然観察の楽しさを広めよう！	担当課	地域起こし推進課	
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進					
事業目的・内容 東区の自然に恵まれた特性や地域資源を生かし、緑や水に親しむ機会を創出することを目的として、平成12年5月から「東区緑のボランティアの会」と区役所が協働し、東区の豊かな自然とふれあう自然観察会を実施している。					
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。					
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018・2019年度は災害等により一部の観察会が中止となったため、2017年度の実績である5回198人（1回あたり平均約40人）を基準とし、1回あたり50人、5回で250人を目標とする。		
○目標値と進捗状況					
年度	2019 実績	2020			
		目標値	実績	進捗率	
年度毎の 目標値	198人 (2017)	200人	59人	30%	
○2020年度の取組内容等					
自然観察会	4月 春の自然観察会	6月 モリアオガエル	8月 水辺ふれあい	10月 シリブカガシ	11月 秋の自然観察会
参加者数	中止	中止	中止	中止	59人
4月～10月の各自然観察会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中止となった。 11月の「秋の自然観察会」は、広島市森林公園で、感染症対策を行った上で実施した。 尾長小学校への学習支援事業「尾長山の自然観察学習」が中止となったことの代替措置として、2月に「東区緑のボランティアの会」が、自然観察の方法や留意事項を示した「自然観察学習の手引き」を作成し、授業用教材として尾長小学校にデータ提供した。					
○2021年度の目標値と取組方針等					
目標値	取組方針等				
210人	参加人数制限や時間差での行動など、密集・密接を避けた自然観察会の実施方法について、「東区緑のボランティアの会」で検討し、実施する。				
○取組上の課題等 ワクチンの接種状況など、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、3密を避けた自然観察会の実施方法について「東区緑のボランティアの会」と一緒になって検討する。					
○備考					

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(2)-(イ)	具体的な取組	都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！			担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進						
事業目的・内容 都心近くには珍しい、複数の山を縦走することができる全長約5kmの牛田山ハイキングコースの認知度を高め、その利用者数を増やすことを目的に、平成25年度から毎年11月に、地元の学区体育協会と区役所、公民館、東区スポーツセンターが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」を開催し、ハイキングコースの魅力を区内外に広くアピールしている。						
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。						
○指標 牛田山ハイキング参加者数				○目標値の考え方 2019年度は、悪天候のため参加者数が123人とどまったため、2018年度実績である177人を基準とし、運営スタッフの人数に制限もあることから、最大200人を目標値として設定する。		
○目標値と進捗状況						
		2020				
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	177 (2018)	180人	0人	0%		
○2020年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえて、共催の東区スポーツセンター、公民館、地元の学区体育協会と協議した結果、「牛田山ぐるっとハイキング」の中止を決定した。 コロナ禍におけるハイキングイベント実施事例の調査として、馬木公民館及び温品公民館への情報収集を行い、人数制限や小グループによる実施等、コロナ禍におけるハイキングイベントの実施方法の検討を行った。						
○2021年度の目標値と取組方針等						
目標値	取組方針等					
184人	新型コロナウイルス感染症の影響を見据えながら、共催の東区スポーツセンターや公民館、地元の学区体育協会との協議を行い、8月下旬までに実施方法の素案を作成し、実施する。					
○取組上の課題等 従来の実施方法では、多くの場面で密集・密接の発生が懸念されることから、参加人数の制限を行う等の公民館での実施事例を参考にしながら、実施方法を検討する。 関係団体間の意見調整に多くの時間を要することを踏まえ、例年9月初旬から開始している全体打合せ会議に向けて、各団体と随時協議を進めていき、8月下旬までに実施方法の素案をまとめる。						
○備考						

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(2)-(ウ)	具体的な取組	地域主催のハイキングイベントを増やそう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進				
事業目的・内容 東区には、都心の近くで自然に親しむことのできるハイキングコースが多数存在する。これらのハイキングコースの利用を促進し、自然とのふれあいの機会を創出することを目的として、令和2年度から新たに地域主催のハイキングイベントの実施を支援する。				
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。				
○指標 ハイキングイベントの新規実施件数			○目標値の考え方 2019年度は、上温品学区体育協会が町民ハイキングを、福田公民館と馬木公民館、戸坂公民館が地域団体と連携してハイキングイベントを実施している。2020年度からも、学区体育協会や公民館等との連携を図りながら、尾長山・大内越山・高尾山の3つの山で、新たにハイキングイベントを実施する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	4件/年	1件/年	1件/年	100%
○2020年度の取組内容等				
温品公民館【新規】	高尾山	感染症対策に留意して実施し、26名が参加した。(11月29日) 広報面での支援依頼があり、Facebookでの情報発信等を支援した。		
<p>コロナ禍におけるハイキングイベント実施事例の調査として、馬木公民館及び温品公民館への情報収集を行い、人数制限や小グループによる実施等、コロナ禍におけるハイキングイベントの実施方法の検討を行った。</p> <p>都心に近いエリアにある尾長山・大内越山での実施事例がないことから、地元の二葉公民館と実施に向けて協議を行った。</p> <p>ハイキングコースの魅力をPRするため、ハイキングマップ(4エリア)を作成して、リニューアルした区HPに掲載した。また、ハイキングコースの案内板(10か所)の整備も行った。</p>				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
1件/年	尾長山、大内越山での新規実施に向けて、「東区緑のボランティアの会」とも連携しながら、二葉公民館と協議・検討していく。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くことが見込まれるため、ハイキングイベントの実施に当たっては、密集・密接を避けることに留意した上での実施が必須である。 ハイキングのスタッフ経験がある「東区緑のボランティアの会」等と連携して、新規実施の支援をしていく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(3) 4-(1)-(オ)	具体的 な取組	「魅力と活力向上推進事業補助金」	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (3) 地域資源を生かした住民主体の活動の推進				
事業目的・内容 平成11年度から、地域特性を生かした個性豊かで魅力あるまちづくりを推進することを目的として、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動に補助金を交付している。				
○課題と対応 東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019年度までの過去7か年の新規申請件数が平均3.1件、2019年度新規申請件数が4件であることを踏まえ、今後も、毎年度4件以上の新規申請件数を目指す。	
○目標値と進捗状況				
		2020		
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	4件/年	4件以上 /年	2件/年	50%
○2020年度の実績等 1次募集での新規申請は2件であったため、2次募集に向けて、「市民と市政」での広報、公民館長会議や町内会長来課の機会をとらえて制度を周知した結果、具体的な取組の相談を1件受けたが、申請には至らなかった。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4件以上 /年	新年度募集開始時に地区社協等に手引き等の案内を送付する。また、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなど、より広く制度の周知を図っていく。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、通常地域活動自体が自粛・縮小される中であって、新たな活動を開始しづらい情勢にはあるが、引き続き「市民と市政」などにより、既存の活動団体の事例を紹介するなど周知を図っていく。 また、地区社会福祉協議会等の団体に手引き等の案内を送付するなどして、今後の補助申請につながる取組・団体の掘り起こしを行う。				
○備考 元気なまちづくりプロジェクト補助（※）には、東区内の地域団体等が申請した7件が採択を受けて、コロナ禍にあっても、地域の魅力を高めるための活動に積極的に取り組んでいただいた。 （※）補助事業の内容等については次ページに記載				

(参考) 補助事業の活動内容一覧

2020年度 区の魅力と活力向上推進事業補助金(新規2件)

団体名	事業内容	補助額
つつじが丘バラ育成クラブ (東区上温品)	住民の交流を目的としたバラ育成クラブと交流サロンを運営して、引きこもりがちな高齢者や外出する習慣のない住民の活動場所・居場所を提供することで、住民間の交流を促進し、地域の活性化につなげていく。	100万円
かかし祭り実行委員会 (東区福田)	広島市森林公園を活用して、かかし祭り(オリジナルかかしの制作・展示・人気投票・表彰、ステージ発表、マルシェ)を開催し、世代間交流の促進と地域のにぎわいづくりにつなげる。	※ 60万円

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止し、下記の元気なまちづくりプロジェクト補助金で事業を行った。

2020年度 元気なまちづくりプロジェクト補助金(東区分7件)

団体名	事業内容	補助額
上温品学区社会福祉協議会	上温品老人運動広場を整地し、多くの人に利用しやすいグラウンドにすることにより、将来にわたって多くの人に活用される地域資源とする。	995万円
温品学区社会福祉協議会	地域の見どころとなる史跡に案内板を設置し、温品の魅力を地域の内外に紹介することで地域資源に磨きをかける。また、地域の子どもたちが描いた地域に伝わる昔話の絵本を印刷し、地域愛を育成する。	206万円
馬木地区社会福祉協議会	公園等の利用促進や各種イベントによる賑わい創出のための機材の購入と遊学の森の賑わい創出のための桜並木づくりにより、ウィズコロナ・アフターコロナにおけるまちづくりを行う。	757万円
エキキタまちづくり会議	屋外イベント用のテント・テーブル等の機材を購入し、地域のイベントや道路占用を伴うテラス営業店舗に貸し出すことで、地域のにぎわいづくりを支援し、同会議が目指す持続的に賑わいが生まれるまちを目指す。	1,000万円
和奏光夜実行委員会 (東区二葉の里)	プロジェクションマッピングの機材を購入することにより、イベント内容を充実させると同時に、ドリミネーションやフラワーフェスティバル等の市域のメジャーイベントに参加することで市域全体のにぎわいづくり等に貢献する。	869万円
かかし祭り実行委員会 (東区福田)	イベント用ステージ等を購入して環境整備することで、かかし祭りを地域の定番のお祭りに発展・定着させ、購入する機材は地域団体に貸し出すことで、地域の他の行事の充実に資することにより、森林公園を中心とした福田・馬木地区の魅力向上につなげる。	225万円
牛田の歴史と文化を生かしたまちづくりの会	牛田の歴史と文化を伝える昔話の紙芝居等を継承しながら、地域の史実を基にした新たな紙芝居を制作して披露することにより、地域資源に磨きをかけ、地域の魅力を発信する。	167万円

## アクションプラン 検証シート（2020 年度実績）

項目番号 3-(4)-(ア)	具体的な取組	健康づくりに取り組む若者を育てよう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 若い世代に対する健康づくり・健全な食生活の実践等に関する普及啓発を目的として、平成 22 年度から大学との包括的な連携のもと、大学祭で健康展（朝食・野菜摂取に関する展示、レシピ紹介等）を開催している。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 健康展の出展回数			○目標値の考え方 これまで広島女学院大学、比治山大学を隔年で実施していた。2020 年度からは両大学の大学祭において健康展を出展するため、年2回とした。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回/年</td> <td>2回/年</td> <td>1回/年</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	1回/年	50%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	1回/年	50%													
○2020 年度の実績等 健康展の出展を予定していた大学祭について、比治山大学は縮小、広島女学院大学は中止したため、大学の健康展が実施できなかった。 そのため、11月6日に広島女学院大学1年生及び教職員300名を対象とし、「生活習慣病から身を守る With Corona 時代の New Normal な生活様式、特に減塩」をテーマに、日下医院の日下院長を講師とした講演会をオンラインで開催することで、若い世代への健康づくり・健全な食生活の啓発を行った。																	
○2021 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2回/年</td> <td>新型コロナウイルス感染症の影響により大学祭の開催は未定であるが、中止となった場合は 2020 年度と同様にオンラインで講演会を行う等、大学と協議して若い世代の健康づくりについて啓発を行う。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2回/年	新型コロナウイルス感染症の影響により大学祭の開催は未定であるが、中止となった場合は 2020 年度と同様にオンラインで講演会を行う等、大学と協議して若い世代の健康づくりについて啓発を行う。									
目標値	取組方針等																
2回/年	新型コロナウイルス感染症の影響により大学祭の開催は未定であるが、中止となった場合は 2020 年度と同様にオンラインで講演会を行う等、大学と協議して若い世代の健康づくりについて啓発を行う。																
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、健康展を実施する大学祭が中止・縮小化する可能性があり、対応については大学と協議する。																	
○備考																	



## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(4)-(イ)	具体的な取組	命の大切さや思いやりの心を育もう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり				
事業目的・内容 大学生が乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやり心を育むことを目的に、常設子育てオープンスペースにおいて、大学生と親子がふれあい、交流できるイベントを実施する。				
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。				
○指標 大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催件数			○目標値の考え方 年1回、継続的に開催する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症の影響により、休止していた常設オープンスペースは、6月8日から再開したが、常設オープンスペースでのイベントは感染拡大防止のため中止している。そのため、3月17日に、比治山大学の学生による親子ふれあい遊びや手洗いの指導など親子との交流をオンラインで実施し、14組の親子が参加した。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
1回/年	新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、効果的な開催方法を検討した上で実施する。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大状況も考慮しながら、オンラインの活用など実現可能な実施方法を検討する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2020 年度実績)

項目番号 3-(5)-(ア)	具体的な取組	地元トップアスリートを応援しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 東区を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ」を応援することを通じて、区民がスポーツに親しむことを目的として、平成 28 年度から年 1 回、東区応援団を結成して試合の応援を行うとともに、区役所ロビーでの応援パネル展を行っている。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 東区応援団への参加者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 90 人であったため、2020 年度目標を 100 人とし、学区体育協会など各種団体への働き掛けにより、毎年度 10 人ずつ参加者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
		2020		
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	90 人	100 人	0 人	0%
○2020 年度の取組内容等 【イズミメイプルレッズの応援状況】				
実施日	応援状況			
8月25日	リーグ開幕に向け東区役所を訪問した中山監督と新キャプテン堀川選手を激励			
8月25日～9月18日	東区役所ロビー展第1弾(チーム・試合日程・リモート応援の紹介など)			
1月1日	「市民と市政」でチーム・試合情報をPR			
1月5日～1月29日	区役所ロビー展第2弾(試合結果・PR動画の紹介など)			
1月9日・1月11日	新たに作成した横断幕を東区スポーツセンターでの試合に掲示			
2月8日～2月21日	東区スポーツセンター及び学区体育協会の協力のもと募集した応援メッセージをチームへ届けた。その様子を Facebook で報告し、ホーム最終戦の応援を呼び掛けた。			
リーグレギュラーシーズン及びプレーオフの試合情報、試合結果を Facebook にて随時紹介し、応援を呼び掛けた。				
○2021 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
110 人	東区スポーツセンターや学区体育協会との協議、連携を図りながら、東区応援隊を結成して試合観戦する方法と併せて、2020 年度に行った応援メッセージ募集企画のように、応援隊を結成できない場合の応援方法を検討し、イズミメイプルレッズを応援する。			
○取組上の課題等 会場での試合観戦は 3 密の回避が課題となるため、東区応援隊の結成の有無及び方法については、イズミメイプルレッズや東区スポーツセンター、学区体育協会と協議する。 2020 年度のメッセージ募集企画は募集期間が短く応募が少なかったため、2021 年度は、実施内容について早期に決定し、広く周知する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(5)-(イ)	具体的な取組	高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実																	
事業目的・内容 区民の生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を支援することを目的として、学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会、東区スポーツセンター等が協働して年3回（5月、10月、12月）、区内の小中学生や地域住民を対象にニュースポーツを体験するイベントを開催している。																	
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。																	
○指標 ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数			○目標値の考え方 2019年度まで毎年3回継続開催しており、2020年以降も毎年3回継続して実施する。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>0回</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	3回	3回	0回	0%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	3回	3回	0回	0%													
○2020年度の実施内容等 ニュースポーツを体験する東区スポーツセンター主催イベントの状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>実施時期</th> <th>状況（新型コロナウイルス感染症の影響）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひがしくスポーツセンターまつり</td> <td>5月→2月</td> <td>一度延期したが、夏に中止を決定</td> </tr> <tr> <td>エンジョイ！スポーツ祭(スポーツの日)</td> <td>7月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>ニュースポーツ交流会</td> <td>12月</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>					イベント名	実施時期	状況（新型コロナウイルス感染症の影響）	ひがしくスポーツセンターまつり	5月→2月	一度延期したが、夏に中止を決定	エンジョイ！スポーツ祭(スポーツの日)	7月	中止	ニュースポーツ交流会	12月	中止	
イベント名	実施時期	状況（新型コロナウイルス感染症の影響）															
ひがしくスポーツセンターまつり	5月→2月	一度延期したが、夏に中止を決定															
エンジョイ！スポーツ祭(スポーツの日)	7月	中止															
ニュースポーツ交流会	12月	中止															
広島市学区体育団体東区連合会と東区スポーツセンターは、2021年度は全てのイベントを実施する方向で準備を進めることとしており、開催する場合の運営や広報の方法について、区役所と関係団体で協議することとした。																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3回</td> <td>年度当初から東区スポーツセンターや学区体育団体東区連合会と連携し、イベントを安全に開催するための工夫を協議していく。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	3回	年度当初から東区スポーツセンターや学区体育団体東区連合会と連携し、イベントを安全に開催するための工夫を協議していく。									
目標値	取組方針等																
3回	年度当初から東区スポーツセンターや学区体育団体東区連合会と連携し、イベントを安全に開催するための工夫を協議していく。																
○取組上の課題等 「ニュースポーツ交流会」は従来どおり事前申込みにより参加者情報のとりまとめを行う。「ひがしくスポーツセンターまつり」と「エンジョイ！スポーツ祭」は不特定多数の参加が見込まれるため、事前予約等の参加者情報の管理や人数制限等の工夫、その周知方法を検討する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(6) 4-(2)	具体的 な取組	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (6) 都心に近い農業地域の活力向上				
事業目的・内容 東区の新鮮な野菜等の特産品を販売するイベントを開催することにより、農業の振興と、来訪者と区民や区民相互の交流を促進することを目的に、平成16年8月から、毎週木曜日に東区民文化センターにおいて「木曜であい市」を開催している。				
○課題と対応 「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。				
○指標 年間来場者数			○目標値の考え方 2018年度までの過去3年間で1回の来場者が103人から80人に減少しているため、2020年度の目標を4,000人(1回80人×年50週)と設定し、毎年50人ずつ(毎回1人ずつ)来場者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
		2020		
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3,640人	4,000人	0人	0%
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「木曜であい市」の開催を中断しているため、参加者は0人であった。 「木曜であい市」の再開については、生産者と協議し、新型コロナウイルス感染症対策として人数制限(30人事前予約)を行った上で、1月14日から再開する予定にしていたが、感染が再拡大し、12月12日から2月21日まで、広島県・広島市「新型コロナ感染拡大防止集中対策」が実施されたため、再開時期を延期した。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4,050人	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、「木曜であい市」を再開する。再開後は、生産者と協力し、感染拡大防止を図りながら、段階的に人数制限を解除し、来場者数の増加に取り組む。			
○取組上の課題等 再開に当たっては、広報活動や感染症対策等の準備を進め、再開後も人数制限や手指消毒の徹底などの感染症対策を行う。感染状況等に応じた段階的な人数制限の解除等については、生産者と協議する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(7)	具体的な取組	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (7) 地域の魅力の継承				
事業目的・内容 東区では、地域の魅力を子どもたちに伝えていくため、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会【以下、歴史】(牛田小学校、尾長小学校)、東区緑のボランティアの会【以下、緑ボラ】(尾長小学校)、東区ふれあひもてなし市協議会【以下、農家】(矢賀小学校)の3者が講師となり、地域の歴史や自然、農業などの学習を支援している。				
○課題と対応 子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。				
○指標 3者が学習支援を実施する学校等の数			○目標値の考え方 2019年度は3者が4校で学習支援を行っており、2025年度に3者が各1校ずつ増やし7校にすることし、2年ごとに1校ずつ増やすことを目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	4校/年	4校/年	3校/年	75%
○2020年度の取組内容等				
団体・学習支援実施校		学習支援内容等		
農家	①矢賀小学校(2年)	「矢賀うり」植付指導(6月) 「矢賀ちしゃ」植付指導(11月)		
歴史	②牛田小学校(3年) ③尾長小学校(6年)	校内授業で見立山・工兵橋など地域の歴史の講師(10月) ウォークラリー(七社寺)でのガイド(10月)		
緑ボラ	④尾長小学校(5年)	(中止) 自然学習の手引きを作成し、2月にデータ提供した。(例年は尾長山・二葉山でのガイド)		
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5校/年	感染症対策に配慮しながら、例年の4校への学習支援に加え、新たな学習支援校を増やす。 【農家】①矢賀小で、「矢賀うり」(6月)、「矢賀ちしゃ」(11月)の植付指導 【歴史】②牛田小(10月)、③尾長小(10月)、⑤広島女学院大学(新規)への学習指導 【緑ボラ】④尾長小(11月)への学習指導			
○取組上の課題等 3密を避けながら感染症対策を十分に行い、児童・ボランティア双方が安心して取り組める方法を検討する。				
○備考				